

# 2025 年度 JKA 補助事業 自己評価会議 議事録

## 開催日時

令和 8 年 5 月 2 8 日 1 3 時 0 0 分～1 4 時 0 0 分

## 開催場所

看護多機能事業所くまの郷 地域交流室

## 出席者

- ・ 理事長 西口麻衣子
- ・ 管理者 山本依莉菜
- ・ 事務局 西口瞬
- ・ 職員 村田由美

## 議題

JKA 補助事業により導入した福祉車両の活用状況及び事業効果の自己評価について

## 協議内容

### 1. 車両導入後の活用状況

JKA 補助事業により導入した福祉車両について、利用者の送迎、地域活動への参加、外出支援等に活用している。

車いす利用者や歩行に不安のある利用者の移動が安全かつ円滑に行えるようになり、利用機会の拡大につながった。

### 2. 導入による効果

- 手すりやオートステップがあるため安全な送迎体制の確保ができた。

- 自動ブレーキ、ドライブレコーダーが装備されているため安全性の向上に繋がっている。
- 地域行事やボランティア活動等への参加機会が増加した。
- 送迎回数が2回から1回に減るなど職員の送迎負担の軽減につながった。
- スタッフからは車両も思ったより大きくなり、施設付近の狭い道でも運転しやすいとの声が挙がっている。

### 3. 利用者さんからの意見

- スリープでの搭乗も恐怖感はなく、乗り降りがしやすくなった。
- 外出機会が増えて嬉しい。
- 安心して送迎を利用できるようになった。

### 4. 課題

- 車両利用予定が重なる時間帯の調整が必要である。
- 定期的な点検・清掃を継続し、安全管理を徹底する必要がある。
- 今後も地域活動や社会参加の機会拡大に活用していく。

## 自己評価結果

福祉車両の導入により、利用者の移動支援の充実、安全性の向上、地域参加機会の拡大など、補助事業の目的を十分に達成できていると評価した。

今後も適切な維持管理を行い、利用者サービスの向上と地域福祉への貢献に努める。

## 決定事項

1. 車両の日常点検・定期点検を継続する。
2. 利用者の社会参加や地域貢献活動に地域密着型サービスとして活用する。
3. 運営推進会議でも通知し、JKA 補助事業の活動を周知する。

以上